

編 集 後 記



モノレールが快調に秋の多摩丘陵を走っています。時間の正確さに加え、高架から眺める景色の素晴らしさは、現代っ子でさえ「いい景色だなあ」とため息を漏らすほど。中大へのアクセスは格段に改善されたのです。しかし、OBの皆さまの中で、このモノレールを知っている方が、どれほどいらっしゃるのでしょうか。意外に少ないのではないかと思います。よく職場に「学校へ伺いたいが、どういうふうに行けばいいのかわかるのか」という問い合わせ電話が、ひっきりなしにあります。「モノレールの存在は案外、知られていないんだなあ」といのが正直な感想です。こしは10月28日(日)に「ホームカミングデー」が催されます。モノレールで多摩校舎をお訪ねになり、サクラ広場に保存されている、あの「旧白門」の前に立ってみるのも一興かと存じます。駿河台と多摩はいつまでも繋がっていることがわかります。ぜひ、お越しくささいして、18歳人口の減少とともに始まった

大学のサバイバルも年々、激しさを加える様相を見せており、中大も多様な入試制度を打ち出しております。一方で、アカウンティング・スクール、ロースクールと専門大学院の設立準備も着々と進んでおります。折りも折り、ことしから大学創立125周年(2010年)に向けた事業計画案づくりが始まりました。今後とも中央大学のために皆さま方の変わらぬご理解、ご協力を改めてお願いする次第です。申し遅れましたが、私はこのたび理工学部事務長から入試・広報センター事務部長に就任しました尾留川一彦と申します。皆様のさまざまな“中大エール”をお聞かせください。お待ち申し上げます。

(入試・広報センター事務部長

尾留川 一彦)



Hakuson
ちゅうおう

2001年特別号
2001(平成13)年10月発行

発行 中央大学広報委員会
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

編集担当 入試・広報センター事務部広報課
TEL : 0426-74-2146
印刷 藤原印刷株式会社
〒186-0003 東京都国立市富士見台3-6-4
TEL : 042-573-3090